



経堂地区認知症アクションチーム

オレンジ通信

第3号

2026秋

認知症アクションチームとは

認知症を知っていますか？
あなたの周りに認知症の人はいますか？
年を取れば、誰でも認知症になる可能性があります。
認知症になっても、その人であることに変わりはありません。
認知症になっても覚えていること、できることはあります。
認知症になってもうれしい、楽しい、悲しい、悔しいなどの感情は、私たちと同じです。
認知症になっても、周りの人の理解や声かけ、ちょっとした手助けがあれば、
地域で普通に暮らしていけます。
認知症の人が暮らしやすい街は、誰もが暮らしやすい街なのです。
認知症でも、認知症でなくても、誰もが安心して暮らせる地域にできたらいいな。
そんな願いを実現するために立ち上げたチームです。
誰でも参加していただけますので、ご興味のある方は是非お声かけください。

経堂アクションチームへの参加申し込みは
こちらのQRからお願いいたします。



そうだ！銭湯に行こう！

東京の介護ってすばらしいグランプリ
優秀賞獲得！



銭湯まで通えなくなった。近くの銭湯がなくなった。広い湯船につかりたい。そんな声を聴きまして、月見湯温泉（赤堤）と送迎ボランティアのご協力をいただき実現しました。奇数月の第三木曜日14時～15時開催。天然温泉のお湯ですっきりスベスベ、入浴後にはコーヒー牛乳やビールなど、皆様、思い思いに楽しまれています。（畠山）



そうだ、銭湯に行こう！

合同会社ケアプランよし ケアプランよし
経堂地区認知症アクションチーム/
吉本亮子

審査員からのコメント

認知症当事者主体の理想的なモデルであり、多機関連携によって銭湯文化の維持に貢献しつつ、当事者の切実な願いを制度外で実現した革新的な取り組みとなっています。



「経堂地区認知症あんしんサポート店」とは

自分自身や自分の大切な人が、
認知症になっても住み慣れた街で
いつまでも暮らすことができるように
やさしいまちづくりに協力して下さるお店です。



小堀鷗一郎先生講演会



2月28日(土)に訪問診療医・医学博士の小堀鷗一郎先生をお迎えし「生き方は逝き方～生き方を支える在宅医療～」というタイトルで講演会を行った。昨年の講演会同様に事前のキャンセルはほとんどなく、100名近くの方々にお集まりいただき演題についての関心の高さをうかがわせた。まずは生い立ちのお話からで、父上が画家(小堀四郎)、母上が随筆家(森鷗外の娘の小堀杏奴)という芸術的な家風のご家庭で育ち、自由な校風の成城学園で学ばれたが、一転して東大に入学されて医師となるまでの紆余曲折を語られた。小堀先生は現在は訪問診療医ということで医業に携わっておられるが、かつては外科医として診療をされており、訪問診療を始められたのは定年退職後であった。訪問診療を行っていく過程で、「死なせないための医療」から「本人が満足して最後を迎えるための医療」に移行していきかけとなった患者との関わりをお話いただいた。重いテーマではあったが、先生の飄々としたお話ぶりで楽しく聴けた講演会であった。直近の著書『死を生きる 訪問診療医がみた709人の生老病死』(朝日新聞出版)(桜丘図書館館長 後藤)

アクション講座



認知症を正しく知ってもらうためには子供の頃からの教育が欠かせない。そんな想いからスタートした近隣小学校でのアクション講座(世田谷版認知症サポーター養成講座)は、学校側の協力の下、今年からカリキュラムに取り入れられて2回目を迎えました。昨年と同じく4年生を対象にした福祉の授業で2月19、20日の連続講座として開催。1日目は小学生向けのテキストを使いながら、経堂あんしんすこやかセンターさんが認知症とはなにか、認知症の人の特徴などについて説明し、2日目には認知症体験者からお話を聞き、ご本人と一緒にやってみたいことを考えました。今年の4年生は3クラスに増えたためか、昨年と比べて私語も多く落ち着きがないように感じられましたが、質疑応答の時間になると、次々と手を挙げて積極的に発言する姿が見受けられました。おしゃべりしながらでも認知症のご本人の語りはしっかり耳に残っていたようです。校長先生からお聞きしたところによれば、今年の4年生はコロナ禍の時に入学した子供たちとのこと。授業中の落ち着きのなさや言動から、コロナ禍が子供たちの心身の発育にいかに関与を及ぼしたかを感じざるを得ませんでした。*近隣の私立中・高一貫校でも6月に社会福祉協議会との連携でアクション講座を開催しました。(経堂地区認知症アクションチーム代表 岩瀬はるみ)

落語を楽しむ会 第三弾



毎年恒例となり満員御礼大好評をいただいております。認知症専門医の新里先生と土曜寄席の4名が会場を沸かせました。演者の巧みな語り口と豊かな表情に引き込まれ、場内を包む絶え間ない笑いで、あっという間の2時間でした。終演後も心地よい余韻が残り、皆様、満足されていました。(畠山) 第四弾は令和8年9月19日に開催しました。

オレンジテニス



RUN伴



今後のイベント予定

2027年3月20日(土)
参加型アクションチームイベント
「音楽療法フェスタ」(仮題)



問い合わせ先：
経堂あんしんすこやかセンター(担当：畠山)
TEL: 03-5451-5580
MAIL: kyodoansuko@gmail.com